

I 沿革

西暦	和 暦	事 項
	昭和	
1950	25年 6月 1日	龍昌寺住職清水光寿師、私立山田町第一保育所開設（園児 52名）
1951	26年 3月	所長清水光寿師私財を投じて 20坪の園舎建築
1952	27年 3月 31日	定員 30名の認可保育所となる
1954	29年 4月 1日	園舎増築（定員 51名）
1960	35年 4月 15日	乳児室増築
1964	39年 1月 28日	ホール増築
	39年 6月 1日	社会福祉法人山田町第一保育所と設立認可、定員 60名、初代理事長兼園長に清水光寿師就任
1965	40年 4月 1日	定員 90名となる
	40年 4月 29日	事業奨励のため金一封御下賜
1966	41年 10月 27日	電話新設（490番）
1975	50年 8月 3日	鉄骨の非常階段架設
1978	53年 8月 17日	調理室改装
1979	54年 11月 7日	一部 2階建にし事務室、会議室を設ける
1980	55年 11月 9日	創立 30周年記念式典開催、園章・園歌制定、園旗（寄贈）、記念誌発行
1983	58年 6月 6日	理事長に清水誠勝氏就任
1988	63年 6月 30日	社会福祉法人山田町第一保育所を社会福祉法人三心会と改称
1989	64年 1月 7日	昭和天皇崩御、年号平成となる
	平成	
1991	3年 4月 1日	特別保育、老人福祉施設訪問等世代間交流事業開始
1992	4年 11月 10日	ホール増改築工事完了、総床面積 486.30平方メートル
1994	6年 4月 1日	特別保育郷土文化伝承活動として虎舞に取り組む
1995	7年 4月 1日	延長保育開始
1996	8年 10月 1日	休日保育開始
	8年 11月 17日	宮古下閉伊地区こどもふれあいフェスティバルに虎舞参加、テレビ放映
1997	9年 3月 31日	屋根葺き替え工事完了
1998	10年 4月 20日	宮古地方振興局鯉のぼり掲揚式に虎舞参加
1999	11年 2月 10日	時計台設置
	11年 3月 19日	乳児室に乳児用浴槽設置
2000	12年 1月 15日	少子化対策臨時特例交付金によりゴーランド・新幹線のぞみ号設置
	12年 1月 20日	創立 50周年記念誌特集号「わが園の特別保育活動」を発行

西暦	和 暦	事 項
2001	12年 2月 10日	保育所内装工事、外壁改修工事完了
	12年 6月 1日	創立 50 周年記念式典開催、記念誌発行
2002	13年 3月 30日	園舎・園庭防犯カメラ 6 か所設置
	13年 3月 31日	固定遊具ロッキングアンパンマン等 3 台設置
2003	13年 4月 1日	物品購入等委員会・苦情解決委員会設置
	14年 6月 8日	年中児保育室床張替工事、幼児用便器取替工事完了
2006	14年 8月 2日	山田道路開通祝賀会に虎舞参加
	15年 2月 28日	園舎 2 階増築工事完了、医務室設置
2007	15年 10月 22日	3 歳未満児保育室内装工事完了
	18年 6月 2日	ホール・ホール下階段擁壁羽目板張改修工事完了
2008	18年 10月 23日	山田町 50 周年記念式典に虎舞参加
	19年 2月 9日	トイレ整備工事完了（中央競馬馬主社会福祉財団助成事業）
2009	19年 3月 26日	サンルーム整備工事完了
	19年 5月 14日	給食室床張替・検収室床張替・玄関フロア張替工事完了
2011	19年 7月 13日	虎舞用半纏 30 着制作（寄贈）
	20年 4月 1日	病児・病後児保育事業（体調不良児対応型）を開始
2012	20年 5月 29日	病児・病後児保育室改修工事完了
	20年 7月 18日	さくら・すみれ組保育室床及び壁補修工事完了
2013	20年 7月 28日	事務室兼会議室増築工事完了
	21年 4月 1日	病児・病後児保育事業開始
2014	2011 23年 3月 11日	東日本大震災発生、午後 3 時 22 分大津波襲来、ひよこ・さくら・すみれ組床上浸水する(園舎 70 センチ床上浸水、半壊に認定)
	23年 3月～	水道・電気・電話不通のため保育所休所(3/14～4/6 まで) 全国から物心両面の支援が寄せられる 3/16 携帯電話復旧・4/5 電気復旧・4/15 水道復旧・4/22 固定電話復旧
2015	23年 4月 7日	保育所再開・入所式・進級式を挙行
	23年 7月～ 23年 8月	岩手県私保連から保育士派遣される
2016	23年 11月～	東社協東京保育士会から保育士派遣される
	24年 2月	
2017	24年 11月	病児・病後児保育利用内容一部改正(料金等)
	24年 11月 30日	震災被害による石垣改修工事費用として 2,000,000 円寄附(岩手県私保連)
2018	24年 12月 6日	石油ファンヒーター 6 台他寄贈(岩手県私保連)
	25年 4月	遊具新幹線「のぞみ号」から「やまびこ号」へ名称変更
2019	26年 6月	全国私立保育園研究大会 参加者避難路見学
	26年 7月	山田第 1・第 2 トンネル工事安全祈願祭 虎舞参加

2014	26年7月	保育所夏まつり(地域貢献活動)
	26年8月	「三陸海の盆」虎舞参加
2015	26年9月	地域住民と合同で避難訓練を行う
	27年4月	子ども・子育て支援新制度が導入
2016	28年2月	震災被害による石垣改修工事完了 震災被害により壊れた玩具用物置撤去し物置設置 ごみ専用ボックス設置
	28年3月	「山田第2トンネル貫通式」虎舞参加
	28年3月	嘱託医の退任 内科 浦辺堅次氏 歯科 千代川泰久氏
	28年4月	嘱託医の就任 内科 大野忠広氏 歯科 内舘 伯夫氏
	28年5月	歯科衛生士によるはみがき指導(毎月)
	28年6月	保育所施設老朽化及び津波被害対策に関わるアンケート実施
	28年8月	「県立山田病院落成式典」 虎舞参加
	29年3月	定員90名から80名へ変更

II 保育所経営

1 保育理念

山田町第一保育所では、児童福祉法で定められた保育に欠ける乳幼児を保育する児童福祉施設です。

山田町第一保育所における保育は、入所する乳幼児の最善の利益を図り、入所する乳幼児の福祉を積極的に増進するために行われます。

また、山田町第一保育所は、入所する乳幼児への保育サービスを通して地域福祉の推進に貢献します。

2 保育の基本方針

乳幼児期は、人間形成の基礎を培う大変な重要な時期です。山田町第一保育所は、この時期の子どもが過ごす生活の場として、次のことを保育の基本方針とします。

- (1) 乳幼児にとって、健全、安全、かつ情緒を安定させられる生活環境を用意します。
- (2) 乳幼児が自分を十分に発揮して活動できるように配慮し、乳幼児の健全な心身の発達を図ります。
- (3) 養護と教育を一体として乳幼児の豊かな人間性の育成に努めます。
- (4) 保護者の協力の下、家庭養育の補完を行います。
- (5) 家庭や地域社会との連携を図り、保育に関する相談に応じたり助言したりすることによって、地域における子育て支援を行います。

3 保育目標

- (1) 保健的で安全な環境をつくり 1 人ひとりの欲求を十分満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- (2) 自分の思いや考えを表現しながら、相手の気持ちも大切にできる子どもに育てる。
- (3) ものごとに意欲をもって取り組める環境をつくり満足感や達成感を得る喜びを味わえるように育む。

ア 命を大切にする子ども

エ 意欲のある子ども

イ 心身ともに丈夫な子ども

オ がまん強い子ども

ウ 思いやりのある子ども

カ 感謝のできる子ども

III 園児及び保育室 (平成29年4月1日現在)

年齢	0～1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男	10	5	7	10	5	37
女	9	5	6	10	9	39
計	19	10	13	20	14	76

※広域入所 なし

IV 主な行事

月	行事
4月	入所式・進級式 保護者会総会
5月	花まつり 内科・歯科健診 親子交通安全教室 お茶会
6月	人形劇観劇 虫歯ゼロ表彰式 親子遠足 ほっこりふれあい食事会
7月	七夕地域交流会 保育所夏まつり
9月	保育参観 育児講座 運動会
10月	内科・歯科健診 祖父母交流会
11月	お茶会 りんご狩り遠足 やきいも会 年長組親子遠足
12月	おゆうぎ会 成道会 クリスマス会 地域交流もちつき会 ほっこりふれあい食事会
1月	みずき団子作り ごっこ遊び
2月	豆まき ねはん会 記念写真撮影 虎舞踊り納め会
3月	ひなまつり会 年長組を送る会 卒園式
毎週	英語活動 音楽活動
毎月	誕生会 避難訓練 身体測定 歯科衛生指導
随時	虫歯治療完了表彰式 虎舞（年長・年中）個別面談

V 1日の生活

時間	0・1・2歳児	3・4・5歳児
7:00	朝の受け入れ(健康観察・検温) あそび	朝の受け入れ(健康観察) あそび
9:00	おやつ 歯磨き 紙芝居・絵本 あそび	(各コーナー遊び 異年齢児との関わり)
10:00	設定・種々の遊び 他	設定・種々のあそび
11:00	0・1歳から給食へ	行事への参加
11:30	午睡	3歳児から給食 歯磨き 午睡
15:00	おやつ 歯磨き 順次 降所	おやつ 歯磨き 順次 降所
18:00	延長保育(19:00まで)	延長保育(19:00)まで

〈通常保育と特別保育〉

- ◎ **通常保育** 午前7時～午後6時（11時間）月～土曜日
- ◎ **特別保育**
 - **延長保育** 標準保育時間 午後6時～午後7時 月～金曜日
短時間保育 午前7時～午前8時 午後5時～午後7時 月～金曜日
 - **休日保育（日曜日・祝日）** 午前8時～午後5時
 - **一時預かり** 一時的に保育に欠ける場合利用できます。通常保育の子ども達と一緒に保育します。
月～土曜日 利用時間 午前8時～午後6時
 - **軽度障がい児保育** 保育所での集団活動ができる場合に利用できます。
 - **病児・病後児保育** 体調を崩して集団保育が困難な場合、仕事などの都合で日中に保育ができない場合利用できます。専用の保育室で看護師、保育士が担当します。
月～金曜日 利用時間 午前8時から午後5時30分まで
土曜日 要相談

VI 保育内容

1 横割り保育と異年齢交流保育

0-1歳クラス（ひよこ）2歳クラス（たんぼぼ）3歳クラス（ちゅうりっぷ）4歳クラス（さくら）5歳クラス（すみれ）の横割りが基本となっております。
設定保育や行事等では、異年齢児が関われるような工夫を行っています。

2 郷土芸能伝承活動保育・虎舞

山田町境田地区に伝わる虎舞を保育の中に取り入れております。
年間を通じての取り組みですから子どもたちの上達ぶりがよくわかります。数々の発表を経験し、子ども達は自信をつけていきます。

3 園外保育活動

春は親子遠足、秋は年長組の親子野外活動、りんごとり遠足、小学校校庭での運動会など保育所以外での活動も行います。

4 仏教保育活動

小さい頃から仏様に手を合わせ供えものをする事は、目に見えないものに対する尊敬の心を育てます。お寺に行ってお釈迦さまの誕生をお祝いしたり、成道会、涅槃会などに参加します。

5 体験活動

野菜を育てる、みずき団子をつくる、クッキング保育を楽しむ、お茶の作法に触れる、もちつきをする、英語など外国語を体験する。いろいろなことを子どもたちは体験します。さまざまな体験を通して、子ども達は感性を豊かにし、関わる力、生きる力を育みます。

※ 保護者のみなさんの育児を応援するために育児講座を開催しております。各クラスの個別面談では、子ども達の成長を保護者と確認し合ったり子育ての悩みなど育児相談にも応じております。

Ⅶ 職員 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

職名	氏名	住所
所長	舟田 昌子	山田町 飯岡
主任保育士	福士 良子	〃 織笠
副主任保育士	田川 聖子	〃 織笠
保育士	糸川 裕子	〃 山田
	上野 瑞徳	大槌町 大槌
	白野 暁子	山田町 長崎
	湊 恵理子	〃 八幡町
	長澤 留美	宮古市津軽石
	長澤真理子	宮古市津軽石
	阿部 亜紀	山田町 大沢
	山本 里奈	宮古市 近内
	杉谷 沙希	山田町 山田
栄養士 調理員	川端 成子	山田町 大浦
	石崎友紀子	〃 織笠
	佐々木優衣	山田町 大浦
准看護師	佐々木 舞	〃 山田
事務職	佐々木早苗	〃 豊間根

三心会事務長 佐藤秀樹 三施設兼務

ひよこ (0-1 歳児)	10	9	19	白野・田川 山本・佐々木
たんぽぽ (2 歳児)	5	5	10	糸川・阿部
ちゅうりっぷ (3 歳児)	7	6	13	上野・湊
さくら (4 歳児)	10	10	20	長澤(真)・杉谷
すみれ (5 歳児)	5	9	14	長澤(留)
計	37	39	76	

病児・病後児担当 佐々木舞准看護師・佐藤トク保育士

Ⅷ 嘱託医

科	氏名	科	氏名
内科	大野 忠広	歯科	内館 伯夫

Ⅷ クラス別入所児童数・担当保育士名

組	男	女	計	担当保育士

Ⅸ 保護者会 役員名

役職	氏名	役職(幹事)	氏名
会長	高橋 清隆	ひよこ組	今野 恵理・佐藤 文哉
副会長	藤原 潔 坂本 祐一	たんぽぽ組	柴田 武・田村 美智子
書記(会計)	山田 栄子	ちゅうりっぷ組	小林 由貴・佐藤 麻衣子
会計監査	佐藤 麻衣子 今野 恵理	さくら組	山田 栄子・小成 涼子
		すみれ組	道又 桃子・山崎 奈津美

会員数 46 世帯 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

XI 三心会役員・第三者委員（平成 29 年 4 月 1 日現在）

役職名	氏名	役職	住所
理事長	清水 誠勝	虎洞山龍昌寺住職	後楽町
理事	武藤 清吉	山田町介護保険運営協議会会長	北浜町
〃	阿部 勲	元山田町農業委員会会長	豊間根
〃	佐々木正弘	山田町民生・児童委員	豊間根
〃	昆 貞行	昆建築設計事務所所長	織 笠
〃	舟田 昌子	山田町第一保育所所長	飯 岡
〃	関 清貴	山田町町議会議員	長 崎
〃	菅原 恵子	豊間根保育園園長	大 沢
監 事	鈴木 ミキ	元山田町監査委員	豊間根
〃	瀬戸 浩	社会福祉士事務所せと所長	長 崎
第三者委員	川端 ミヨ	山田町民生・児童委員	長 崎
〃	箱石 紅子	山田町民生・児童委員	山 田
〃	廣田 司朗	社会福祉法人理事	後楽町

XII 保育所の位置・環境・歴史

○ 位 置

山田町第一保育所は、国道 45 号山田町後楽町の三日町バス停の信号機より 100 メートル程西に入ったところにある。

○ 環 境

杉と広葉樹の生い茂る寺山の東裾に虎洞山龍昌寺(寛永 10 年・1633 開山)があり、その境内の閑静な一郭に保育所がある。寺山の南裾に関谷・関口に通じる道路があり、道路を隔てた南側に中央公民館、保健センター、コミュニティセンター(図書館)役場が集中する。北側は住宅地を隔てて関口川が東流し山田湾に注ぐ。東側は住宅地、商店街を隔ててすぐ近くに山田湾があったが、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の津波によりすべて流される。

○ 歴 史

戦後の傷跡も深く世相の混乱の続く昭和 25 年、龍昌寺 17 代住職清水光寿師は、養育・教育と就学前教育の重要性を説き、6 月 1 日社会奉仕の一環として私立山田町第一保育所を創立、園長、保母 4 名、園児 52 名(入所希望者は百数十名を超えた)でスタートした。

昭和 37 年認可山田町第一保育所、39 年社会福祉法人山田町第一保育所、40 年には定員 90 名とし、55 年創立 30 周年記念式典を開催、園章・園歌設定、記念誌を発行、63 年社会福祉法人三心会山田町第一保育所と改称した。

平成 3 年世代間交流事業開始、6 年郷土文化伝承事業として虎舞に取り組む。7 年延長保育を開始、8 年宮古・下関伊地区子どもふれあいフェスティバルに虎舞が参加、11 年シンボル時計台を設置した。

平成 12 年創立 50 周年記念式典開催、記念誌、特集号として「わが園の特別保育活動」を発行した。

13 年に物品購入等委員会、苦情解決委員会を設置、15 年に園舎 2 階増築工事・医務室を設置した。

平成 20 年 4 月「体調不良児対応型」保育(自園型)を開始、5 月「病児・病後児」保育室改修工事、事務室兼会議室増築工事を行う。

平成 21 年 4 月「病児・病後児」保育事業を開始する

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の津波により園庭・ひよこ組・さくら組・すみれ組の 3 部屋が床上浸水した。

平成 29 年 3 月に定員 90 名から 80 名に変更する。平成 29 年度から 80 名定員。

平成29年度

保 育 所 要 覧



社会福祉法人 三心会
山田町第一保育所